



## 宮森健次

## チラシ



こども寄席の依頼があると、ほとんどの場合チラシを作る。どのように作るかは依頼主によってまちまちだが、ほかにもいろんなイベントをしていて作り慣れているところは、まああまりない。お得意様である町内会や敬老会などは、役員が会合を知らせる文書の中に「こども落語があります」などの文言を入れて知らせるといふ発想の人が多く、写真やタイトルが踊る一般的なチラシを思いつく人はまずない。そこで「チラシはご希望ならこちらで作りますよ。無料です」と言ってサンプルを示すと、たいてい「それじゃあ作ってください」となる。

会員が決まっています、黙っていても集まる類いの会には本来不要だが、告知とは別に誰がどのように何をするのか理解を図り、期待を高めるといふ効用がチラシ

シにはあり、それはとても大切なことなのである。

町内会によって、回覧であったり全戸配布だったりするが、寄席に来られなくても、子どもたちの元気な顔を多くの人に届けられるというのもチラシの利点で、その意義は小さくないと思っている。だから出来映えについては、少しでもよいものになるようにと細心の注意を払っているつもりだ。しかし、何とも奥が深く、ちょっと調べれば知らなかったことがわんざか出てくる。デザインなどまったく学んでこなかった素人には、毎度我が拙さを思い知らされる。

いつしか書棚には、デザインやフォントの解説書が並び、利用するパソコンソフトも吟味すれど増えていくばかりで、金も手間もそれなりにかかってしまっているのだが、どれも必要に迫られたからであり、おもしろいことに出合ったあかしでもある。

デザインと落語、そして文章も、表現という意味では仲間であるせいか、驚くほど共通点が多い。某書にはセンスがないなどとは逃げ口上に過ぎず、「大切なのはセンスではない。誰に何を伝えたいのかなのだ」と。まさにその通り。

## 編集後記

「古い老いに」で時々編集後記が引用されています。そんなこと書いていたかなあと覚えていないものばかりですが、編集後記そのものを書かなくなって久しいことの方が気になり始めました。新しい春を迎えるにあたり、編集後記を再開させ紙面デザインも新しくしました。リフォームをたびたびしない店にはやらないのですが、ちょっと怠け過ぎました。少しでも読みやすくなっていたらよいのですが。夕焼け通信社春休みをとりましますで、次号一五三二号の発行は四月十三日となります。(M)

古い老いに

## 木幡智恵美

75

二〇〇八年度に入った四月、夕焼け通信十六年目は七百一号から始まる。紙面を埋めているのは、その年最初の号と同じ、今に続く面々の文章だ。「ニュース日記」はN・Rさん、「続人生の踊り場」はM・Iさん、そして編集長は「素人出版日記」、私は新たに「旬を味わう」を連載することになった。編集後記にはこうある。

「毎年この時季は、始めた頃のことを思い出します。ほんの思いつきがこういうことに。でも、きつと生きているってそういうことですよね」

私が「旬を味わう」で最初に取り上げたのはよもぎ。その春から長男に続き、二男も家を出ることになった。管理栄養士になると言って推薦をもらい、倉敷にある大学の寮で暮らすことになったのだ。卒業式を終えてから原付の免許を取り、中古で買ったバイクにまたがって倉敷へ向かう。私と夫が前後で挟み、線路沿いのくねくねした山道を走った際、カーブを曲がり切れずに二男は転倒。道端に生えていたよもぎを集めて汁を出し、傷口に当てて応急処置をした。

よもぎは血止めになるし、乾燥させてお灸に

するなど、漢方薬として馴染みのある植物だ。菱餅を作る際に入れたりよもぎ餅にしたり、食べても美味しい。春先に出る若いよもぎを摘んでよもぎ団子をよく作ったものだが、団子粉を練って砂糖を加え、少しずつ水を入れながら四〇分間こねる作業は老体には億劫になり、ここ数年よもぎ団子はご無沙汰だ。

さて、寮に向かう際に転んでしまった二男、出端で躓いたせいとか、学生生活は順調にはいかなかった。もともと管理栄養士を目指していたわけではない。推薦枠にあった科がそれだったのだ。新学期が始まってすぐ、バイクでまたしても転倒し、今も残る傷を作っている。単位数が足りないのと再三呼び出しを食らい、その度に「頑張る」と言っていたにもかかわらず、ついにはやめてしまった。思いつきで進学し、回り道はしたけれど、寮で共に過ごした友との縁は続いている。母校にも親にも迷惑をかけたという思いが、折に触れ見え隠れする。中退経験は腕白で自由奔放に生きて来た二男のちよつとした抑止力なっているようだ。そういうことも含めて、それが生きているってことなんだなと思う。

# 高市人気をもっと上げる方法

中村 礼治



30代フリーター 新年度予算案が審議時間を大幅に短縮して衆院を通過した。政権と与党のかつてない横暴が続いている。

年金生活者 高市早苗が国会運営の慣例を無視して予算の年度内成立を目指す狙いのひとつは、「型破り」による目新しさを演出することによって高支持率を維持することにあるのかもしれない。高市人気の源泉は絶えざる「新規性」の演出にあるからだ。

この政権の最大の新規性は「初の女性首相」であり、それが高支持率の最大の要因ともなっている。だが、どんな新しさもやがて陳腐化する。「初の女性首相」も新しくなくなるときが来る。高支持率の維持も

国の「一带一路」構想はその具体化にはかならない。欧州や日本にはそこまでの力はないが、かつて絶対王政国家が繰り広げた資源獲得競争を「経済安全保障」の名のもとに反復している。

それらは資本主義が商業資本主義に形を変えて回帰したことを示しており、トランプや習近平やプーチンの横暴な振る舞いは、商業資本主義のもつ横暴さをあらわしている。それを模倣しているのが高市政権だ。

30代 過去の政権がしなかったことをする「「新規性」の演出が高市政権の高支持率を支えているとしたら、イラン攻撃に対して、歴代政権と同様にアメリカ追従の姿勢を示している高市早苗は自らの人気を長続きさせる絶好のチャンス逃そうとしていることになる。アメリカのイラン攻撃に反対することこそ、「初の女性首相」のあとの最大の「新規性」の演出になるはずなのに。

年金 戦後の日本で、アメリカのする戦争に反対した政権は存在しない。朝鮮戦争、

難しくなる。新規性に支えられた政権の宿命と言っている。

長期政権を目指すなら、目新しさを休みなく演出し続けなければならない。高市政権はこれまでもそれを実行してきた。財政規律を無視した「積極財政」▽異例の真冬の電撃解散▽「私が総理でいいか」と問いかけた大統領選的な衆院選の演出▽タカ派的な安全保障政策の加速▽マスメディアよりSNSの活用傾向した選挙運動などだ。

30代 そうした新規性は高市の独創ではなく、多くは「型破り」を繰り返すトランプの政治スタイルの模倣に見える。高市が師と仰ぐ安倍晋三がトランプを手なずけて利用しよ

ベトナム戦争、湾岸戦争、アフガニスタン戦争、イラク戦争など、いずれもそうだ。アメリカはこれらの戦争について、国連安保理決議やその拡大解釈、さらに集団的自衛権の行使といった国際法上の裏づけを曲がりなりにも掲げて正当化した。だから、日本政府も追従しやすかった。

ところが、今回のイラン攻撃はそうした正当化の手続きすら、はなから飛ばしていきなり実行しており、国際法違反の疑いが極めて濃い。親トランプの高市政権もさすがに正面切って支持することはできず、「イランの核兵器開発は許されない」（外相談話）とか「我が国として法的評価は差し控える」（首相答弁）といった言葉で遠回しにアメリカの行動を容認している。

だが、国民世論はそれとは対照的に、イラン攻撃への不支持が圧倒的だ。朝日新聞の世論調査（3月14、15日）では、攻撃を「支持しない」は82%におよび、「支持する」は9%にすぎない。この攻撃が法的に問題があるか

うとする一面を持っていたのに対し、高市はトランプをまね、トランプに同調する。年金 結果的に、高市政権の諸政策は「ネオ重商主義」という世界のトレンドに沿うものとなっている。

政権のおもな「ネオ重商主義」政策をあげると、AI・半導体など最先端分野への政府の支援▽技術・資源の国家管理による「経済安全保障」▽防衛装備品の輸出緩和や防衛企業への補助金など軍需産業の振興などで、いずれも財政支出の増大、官民の共同、政治と経済の一体化、軍事と産業の結合が特徴だ。

「ネオ重商主義」は、かつて商業資本主義の段階にあった西欧で絶対王政国家がとった「重商主義」の現代版だ。それは現在の世界の主要国に共通した政策になっている。

「重商主義」は「植民地主義」と表裏一体であり、「ネオ重商主義」もまた形を変えた「植民地主義」をもなっている。アメリカのベネズエラ襲撃やイラン攻撃、中

どうか、考えを明らかにしない首相の姿勢について「評価しない」は51%で、「評価する」の34%を上回っている。

30代 それでも内閣支持率は61%と高水準を維持している。年金 もし高市政権がここで一転してイラン攻撃への反対を表明すれば、それは未曾有の高さに跳ね上がるだろう。

戦争が長引き、ホルムズ海峡の封鎖が続けば、インフレは今後さらにエスカレートし、国民の不満は政権を不安定化させかねないくらい高まる可能性がある。そうなったとき、首相の攻撃反対の表明はそれを和らげるはたらきをするはずだ。1国だけで表明するのが不安なら、すでにアメリカを批判している仲良しのイタリア首相メローニやその他のG7各国の首脳を誘って共同でトランプに戦争をやめるように申し入れればいい。戦争を早く終わらせたがっているトランプへの助け舟にもなるかもしれない。